

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆4月の消費者物価1.4%上昇、3カ月連続2%割れ 政策でエネ価格抑制

・総務省が発表した4月の消費者物価指数(CPI、2020年=100)は変動の大きい生鮮食品を除く総合が112.5となり、前年同月比で1.4%上昇。政府によるガソリン補助などがエネルギー価格を押し下げ、伸び率は3カ月連続で2%を下回った。エネルギー価格は3.9%低下した。ガソリン補助のほかガソリン旧暫定税率の廃止が影響。

◆実質賃金25年度0.5%減、4年連続マイナス 物価高に賃上げ届かず

・厚生労働省が発表した2025年度の毎月勤労統計調査(確報、従業員5人以上)によると、物価変動の影響を除いた実質賃金は前年度から0.5%減。マイナスは4年連続。賃金は伸びているものの物価上昇に追いつかなかった。マイナス幅は24年度から横ばい。実質賃金の算定に使う25年度の消費者物価指数は前年度比3.0%上昇。

◆電気代、2026年夏は月1000円超支援 ガス含め予備費5000億円活用

・政府は7～9月の電気・ガス料金支援として5000億円程度を予備費から支出。中東情勢の緊迫による資源高が料金に反映されるのを見据え、家計の負担軽減を図る。電気代は標準的な世帯で月1000円超の支援となる見通し。減少する予備費は補正予算案を編成して積み増し、今後の備えとする。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆パナソニックHD、店舗向けLEDの新商品 蛍光灯製造禁止で移行にらむ

・パナソニックホールディングスは22日、店舗向けの発光ダイオード(LED)照明の新商品を発売すると発表。照明器具を更新する際の工事負担を減らす設計にし、蛍光灯の製造禁止に伴うLEDへの移行需要を取り込む。ダウンライト型の新製品は独自の取り付け構造で、照明器具を天井に埋め込む計5種類の穴の大きさに対応できる。

◆公共施設の入札不調、9割の市「経験」 建設費高騰で計画見直し頻発

・公共施設の整備や修繕に関し、全国の自治体で入札不調が頻発。日本総合研究所が19日に発表した調査結果では、回答のあった市の9割が入札不調を経験。建設費高騰で事業者の積算額が増え、自治体の想定を上回ったため。首都圏では公共施設の建て替え見直しや中止が相次ぐ。1月30日～2月20日に人口5万人以上の557市町を対象に調査。

◆ノーリツ、ガス給湯機器などを値上げ 8月3日受注分から

・ノーリツは温水機器のメーカー希望小売価格を8月3日受注分から改定すると発表。値上げ幅は、ガス給湯機器・石油温水暖房熱源機・業務用温水機器が約5～18%、温水式浴室暖房乾燥機・温水式暖房放熱器・ガスファンヒーターが約11～30%、温水機器関連部材が平均11%。安定した商品供給と品質維持のため、価格改定を決定。

《 注目商品 》

■パナソニック、コンパクト化と使い勝手向上を両立 compact-3 plan

・コンパクト化と使い勝手向上を両立した対面キッチンの新プラン。横並びの3つのコンロ「フラットワイドコンロ」、奥行を拡大し、3方向から囲んで使用できる「ラウンドアクセスシンク」、大容量で450mm幅の「フロントオープン食洗機」搭載プラン。



■ジャニス工業、洗面器のパターンオーダーを開始

・洗面器・手洗器のパターンオーダーの新ブランド「irodori(いろどり)」を開始。サイズは対応範囲内であれば自由に指定することができ、色は基本色ホワイトに加え、10種類の受注色、特注色も可能。小ロット国内生産による在庫リスク削減を実現。



■アイカ工業、浴室・水廻り用化粧板の新柄4点

・軽量でカッターでも簡単にカットできる浴室・水廻り用の壁面パネルに新柄4点を追加し計43点にラインナップ拡充。極限まで光沢を抑えたマット感とドライな手触り感で上質な空間を演出する「IMPACT MATTE (インパクトマット)」には、グレーカラーのモルタル調と石目調の2点を品揃え。

